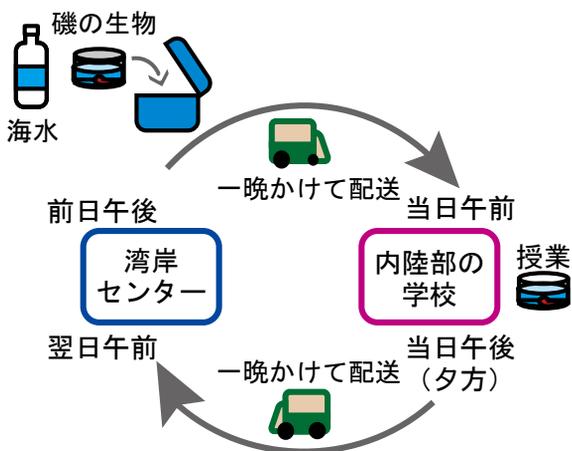


お茶の水女子大学 海洋教育促進プログラム（日本財団助成事業） 「教室に海を」プロジェクト 磯の動物の出張



磯の生物の多様性を実際に手に触れながら観察する体験活動を、内陸部の学校の生徒が磯に来る代わりに動物が内陸に赴くという形で実現します。

様々な動物を一通り網羅する、あるいは特定の動物を紹介したい、など授業内容はカスタマイズ可能です。

当日の流れ

午前中



水槽に入った生物、解説シート、保冷氷、海水が届く

昼休み



水槽のふたを外し、水を替え、机に並べれば準備完了

午後
授業

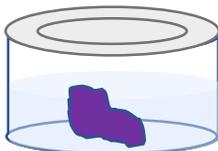
夕方



終了後、再度水を替え、梱包

それぞれの生物に合った方法で送付します

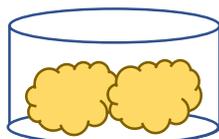
ふた付き水槽にそのまま入っているもの（「そのまま蓋」）



蓋を外して水替え



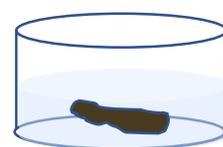
水槽 + 濡れ紙タオルに包まれた生物



生物を出し、水槽に海水を入れる



水槽 + ビニール袋に入った生物



磯の動物の出張実施例

2018年12月15日
栃木県立宇都宮女子高校



送付動物リスト（動物門を一通り網羅）

動物門	動物名	送り方	備考
刺胞	ウメボシイソギンチャク	そのまま蓋	2匹×2水槽
扁形	ヒラムシ	そのまま蓋	1匹
環形	ジャリメ	パックで輸送	広げる用水槽は別に用意
軟体	アメフラシ	そのまま蓋	1匹
	タツナミガイ	ビニール袋に入れて丸水槽	1匹
	ウミウシ類	そのまま蓋	2匹、1匹ずつ水槽に
	ヒザラガイ	濡れ紙タオルに包む	2匹を1匹ずつ個包装し蓋
	キサゴ	そのまま蓋	8匹
	その他の貝	そのまま蓋	4+6匹
節足	ヒライソガニ	濡れ紙タオルに包む	5匹+6匹 蓋も
	ヤドカリ類	そのまま蓋	3匹 × 2
	イソカニダマシ	そのまま蓋	3-4匹×2
棘皮	ウニ類	濡れ紙タオルに包む	アカ、ムラサキ、バフン、タコ2ずつ
	ヒトデ類	濡れ紙タオルに包む	イトマキ、ヤツデ 2ずつ
	ナマコ類	ビニール袋に入れて丸水槽	マナマコ3、テツイロ3
	クモヒトデ類	そのまま蓋	アカ2、アオスジ3+ニホン1
	ウミシダ類	そのまま蓋	1匹×2
半索	ギボシムシ	標本	
脊索	ナメクジウオ	そのまま蓋	5匹+砂だけ水槽
	ホヤ	そのまま蓋	3+2匹
	ハオコゼ	そのまま蓋	1匹だけ

このときはクモヒトデ以外の生物は無事に往復しました

クーラーボックス3つ
500L：軟体動物
500L：棘皮動物
360L：その他

海水：2L×6本×5箱

保冷用氷：各クーラーボックスに
500mLペットボトル2本ずつ、
+ 返送時分を発泡スチロール箱で
6本別途送付